# 朗和基督教會週報

第百廿八號

四月廿六日

發行主任 白石清
毎週木曜日發行

Rohwer Federated Christian Church

# WEEKLY BULLETIN

No.128

Apr. 26-1945 McGehee, Ark.

○今週の標語

これ神の人の全くなりて諸般の善き業に備を全うせん為なり。（テモテ後三ノ十七）

## ○聖日禮拝順序

四月廿九日、午後二時、教會堂、

司會 白石牧師

奏樂

頌榮（五六六）

招拝及主禱

讃美歌（二六）

聖書拝讀（テモテ後三ノ一—十七）

祈禱

合唱 聖歌隊

訣別説教 佐々木牧師

「恩寵の生涯」

祈禱

讃美歌（二七六）

獻金

報告

頌榮（五六八）

祝禱

## ○青年部諸集會

○パヂエント「新精神」

ギヤロワト姉作、同氏指導、

廿八日（土）午後七時半公會堂

○禮拝 廿九日、朝一〇、一五 教會

説教 ギヤロワト師

○青年集會、廿九日夜七時

Y.P.C.F. 及び C.Y.F. 例會

○青年祈禱會、五月二日、

午後七時、ギヤロワト師指導

---

○日曜學校（廿九日）

全七校、午前九時

- 學課－カナンに於ける困難と解決
- 本文－ヨシア記、士師記、
- 金言－詩廿七ノ一－十。

## ○諸集會案内

●廿六日（木）午後八時 教會堂

故高橋昌吉氏近親告別式

●廿七日（金）午後二時 教會堂

故高橋翁葬儀

●廿八日（土）午後七時半 公會堂

聖劇「新精神」 青年部主催

●廿九日（日）午後、礼拝直後

婦人會役員會。

●同日 午後七時半

傳道説教會

イ、西會館、司會者、

説教「神祐」 平原中校

ロ、北會場、司會者

説教「基督者の生活」 白石牧師

●五月一日、（火）午後二時半

靈交會、東會館

司會者、中道夫人

●同日、午後七時半

聖書研究會、

イ、九－五F－1 行傳、秦牧師

ロ、事務所－ロマ書、柿原牧師

●二日（水）午後七時半

祈禱會 教會堂

指導奨勵 秦牧師

## ◎怖るべき宣傳戦

白石清

ヤコブ書に「視よ、いかに小さき火の、いかに大なる林を燃すかを。舌は火なり。不義の世界なり」とある。不幸にして今日程その真実を証明せられたる時代はない。凡ゆる悪宣傳と流言蜚語の大渦巻の中に目を暈し踪跡として進むべき方角も定まらないのが現代人の有様である。今日の戦禍はV爆弾、焼夷弾と地雷水雷の乱射による被害のみではない。各國は夫々「宣傳相」といふ本式専門のデマ大臣を設けて、嘘八百に事実が五十、捏ねて固めて團子に丸め、蒸して乾した官営秘密の弾丸を敵陣目がけて発射するのみかは、味方の方までも大振舞ひといふ念入りのお接待は実際恐縮に堪えない。曰く味方を欺かずしては敵をあざむくことを得ずといふ兵法ださうで至極御尤もなことである。今や斯る心理戦術を以て人心を攪乱し、恐慌を来し以て戦闘意識を粉砕せんと努力してゐる。而かし困つた事には、其の戦禍の及ぶところ決して敵方ばかりではない。味方も亦一喜一憂、デマに踊らされて騒いでゐる騒々しい世の中である。私は從來屡々主イエスの御生に就て考へ、あれ程、盲人は見、跛者は歩み、癩病人は潔められ聾者は聞き、死人は甦へらせられ、貧者には福音を聞かせられるといふやうな愛の行者、然も多くの帰依者を有たれたお方が、たとへ民衆の期待に反し、失望を与へたとはいへ十字架に釘けらるゝを傍観してゐるだらう、どうした腑甲斐ない事だ。それもピラトが死刑を宣告したといふのなら格別、「われ此人に罪あるを見ず」と明言してゐるのに、むざむざ渡してしまふとは、どうしても合点がいかない。少くも日本人だつたら民衆が承知しなかつたであらう。然て「宣傳」の怖るべき力を知るに及んで、此疑問は自ら解消した。明朗鏡の如き神の子イエスに對し「彼は瀆言を言へり……十字架につけよ」といふデマを飛した結果は「遂に其聲勝てり」といふ恐ろしい結果となつた。だが世上是に類した

事件の如何に多いかを見よ。心なきデマが如何に人を傷け人を殺してゐるかを思ひ慨然たらざるを得ない。然し我々はどんなデマでも流されてはならない。聖言に「われ汝らに告ぐ、人の語る凡ての虚（むな）しき言は、審判の日に糺（ただ）さるべし」と。

（マタイ十二ノ廿六）

## ○教會庶務報告

（十九日—廿五日）

○児童講演—ギャロット師の斡旋により多年南米宣教師たりしW.エネット氏を聘し、去る廿二日午前午後西公会堂にて催さる。同師はサムミーと呼ぶ大人形を同伴自由自在に彼に歌はせ語らせ、子供等は大喜びであった。

○バプテスマ式—廿二日、午後七時半東会館に於て、白石牧師司式の下に佐藤夫人（五ノ十D、富次郎氏夫人）受洗せらる。

○牧師會—廿三日（月）午前九時半より桑牧師も見え同師司会の下に例会開かれ、平原中枝より記録報告あり、其の他の諸集会報告、例の如し。其れより庶務部署を取きめてニテビジネスに入る。

一、前大統領追悼会に関する件。

二、柿原牧師より夏季休暇要請の件は五月四日（金）より五月一杯を承認。

三、次の例会を佐々木牧師夫妻のため送別会とすること。廿日午後三時。

以上、白石牧師祈禱を以て正午閉会。

## 諸集會報告

| 時日 | 集會 | 説教者 | 出席者 |
|---|---|---|---|
| 廿日 | 日校教師会 | （各科別） | 一一 |
| 廿二 | 聯合日曜学校 | エネット牧師 | 三六二 |
| 〃 | 青年礼拝 | カーバー博士 | |
| 〃 | 大人礼拝 | 白石牧師 | 八八 |
| 〃 | 児童講話 | エネット牧師 | 一〇〇〇 |
| 〃 | バプテスマ式 | 白石牧師 | 二五 |
| 〃 | 傳道説教 東 | 柿原牧師 | 二五 |
| 〃 | 〃 北 | 平原中枝 | 二〇 |
| 〃 | Y.P.聯合 | 平原デビ氏 | 三八 |
| 廿三 | 婦人霊交会 | 佐々木夫人司会 | |
| 廿四 | 聖書研究会 | 桑牧師 | 二〇 |
| 〃 | 〃 | 柿原牧師 | 七 |
| 〃 | 青年コワイヤー | ギャロット師 | 二四 |
| 廿五 | 祈禱会 | 白石牧師 | |
| 〃 | 青年祈禱会 | ギャロット師 | |

### 佛国戦線を語る!!!

廿七日（金）午後七時半
教会堂にて
平原一明氏

殊に軍人の御両親方の御来聴を歓迎致します。

## ○感謝

以下教会内各部へ夫々御献金下されし左掲の諸兄姉へ厚く御礼申上ます。　各部会計

○教會へ

| | |
|---|---|
| 楠壹郎一家（ソートレイキ） | 在助彌昇天記念 |
| 瀧井様 | 出所記念 |
| 鋤柄老人様（病院内） | 感謝献金 |
| 佐藤富次郎様 | 加州帰還記念 |
| 正田夫人様 | 同上に付 |

○婦人會へ

| | |
|---|---|
| 正田夫人様 | 加州帰還記念 |

○日曜學校へ

| | |
|---|---|
| 佐藤富次郎様 | 加州帰還記念 |
| 正田美代子様 | 同上に付 |
| 正田愛子様 | 同上に付 |

## 個人消息

○ギャロット師夫人は廿四日女児を御安産アリスと命名せらる母子共に御健在、おめでたう。

○坂上牧師は去る十九日、丘父と令妹同伴でシカゴへ赴かる。老兄と令妹とは更にアイダホの女婿高橋方へ赴かれ、牧師は廿七日アルカンソーのエルドラド行かれ、一週間同地方を巡回講演せらるべしと。皆様へよろしくとのお便りあり。同師の有名なる「御無沙汰」の御挨拶。

○同師がシカゴにて面会せられし諸和人は先づ安藝牧師夫妻と同車にてセントルイスよりシカゴ入り、同地にては桑夫人、桑メリー、前田アリス、武田ジョージ及エルネ、高橋リー（旧姓）泉ドロシー、甲斐アリス、野口ミルドレッド、吉本和恵、木藤ルース。諸兄姉、皆健在。

○貴良美代子夫人—今回南部バプテスト日本人ワーカーとして当州に再度の任命で受けられし由。

○浅木貞子嬢 当教会事務員として働かれてありしが、以前より辞意を洩しておられたが、愈々当月限りにて辞任の筈。その後は貴良夫人が事務にあたって下さる筈なり。

○柿原牧師は五月上旬テキサス州サンアントニオに赴かれ帰途ヒューストン及ニューオレヤンスを経て御帰宅の予定。

○児玉節二兄は去る廿四日、早朝兼て交渉ありしネブラスカ在の農園へ赴かる。約二ヶ月して一旦お帰り、先方有望なれば家族同伴御出所の由。

○白石勝蔵兄は加州帰還者第一班と同行三月廿八日羅府、ガーデナ地方視察旅行中のところ廿四日無事帰宅せらる。

○佐藤富次郎兄姉は先発帰還せられたる令息より頻りにお帰りを促されるので御家族同伴廿七日御出発、ホーソンのお宅へ帰らるる筈。

○瀧井千寿氏夫妻は女婿森川牧師の御斡旋にてシカゴに適当なる家屋を見付けられたので来る廿日御出発同地へ転住せらるべしと。

○ニュージャージーのシイブロック農園行人員募集に応じて当地よりも相当数の人々が来る五月一日当所を出られることになったが わが教会より同地へ赴かる諸兄姉左の如し、佐々木牧師夫妻御一家、大松兄姉御一家、丁野兄姉一家、及び土肥兄姉である。

○石丸正吾兄は兼てスタクトン帰還を御計画中のところ準備成り五月初旬十家族及び十五人独身労働者の一団を率ゐて当地を出発せらるる御予定也。

○加納秀夫人は兼て御令息新入牧師を訪問外出中のところ本日お帰りの筈なりと。

○平原一明氏は近く再び加州の病院に一旦お帰りになる。今後の方針がおきまりになる。

春季教會聯合大會、講師
五月六日より十日まで　ジョン スミス博士